有限会社オガワテクノ

ソイルフィッドーＳＦ５０

表土をリサイクル使用出来る

施　工　方　法

大阪城西の丸公園

(有)オガワテクノ

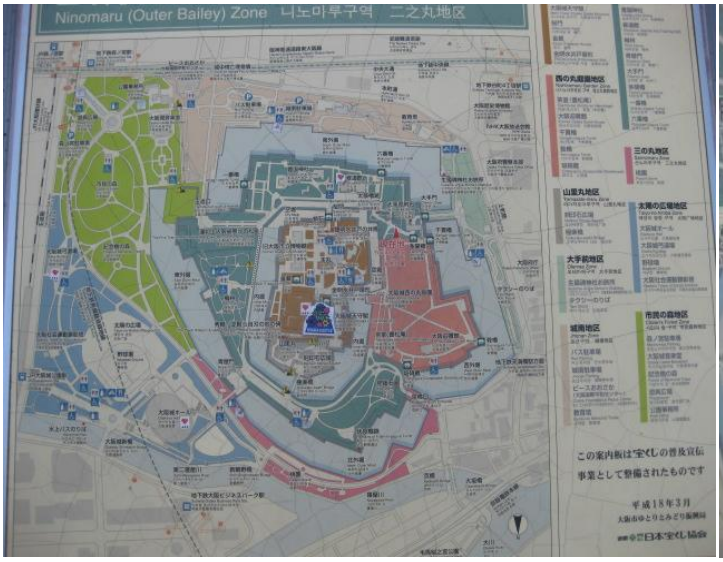
2013/08/01

2013/7/1

ソイルフィッド-SF50

表土をリサイクル使用した施工

施工マニュアル



施工前

施工後

大型トラックが土を積載運搬していた所

試験施工　２５年４月２２日
大型トラックで　総土量約７，０００㎥　３，５００㎥往復　　輸送約２，０００回　通過後
ひび割れ　陥没等　異常が無かったので　今回の使用が決定した

補修工事　地面積　約 600 ㎡
ソイルフィッド-ＳＦ５０は　１㎡当たり１㍑散布　　約６００㍑使用

入り目　18ｋｇ石油缶

ＳＦ－５０は　希釈後　散布
(その時の表土の水分の含み具合により 3～8 倍に希釈調整が必要)

標準希釈液の作り方　　散布量について

ＳＦ－５０原液１㍑に対して　希釈水５㍑加えて合計６㍑を１㎡に２回に分け散布する

散布方法

第１層目　　下地作り　厚さ　30ｍｍ　　標準希釈液　　２㍑散布する
(全深さ 50ｍｍの内　表土を粉砕して整地した状態で 30ｍｍ仮転圧)

第２層目　　仕上げ　　厚さ　20ｍｍを整地し、標準希釈液４㍑散布し　転圧して仕上げる

使用工具　重機
ＳＦ－５０　希釈タンク

参考　今回は表土の粉砕時使用

① 既存舗装の撤去

撤去の仕方

表層部分　(表土)

真砂土＋ｾﾒﾝﾄ舗装の為　カッターにて施工範囲を切断

掘削ドリルでｾﾒﾝﾄ部分を粉砕　ショベルで掘り起こすむ　深さは５㎝

広域部分については水平と傾斜を確認

表土は深さ約５cm　掘り起こす　　雑草は根ともに、土ごと撤去する

はぎ取った表土は粉砕後　リサイクル使用する

鉄板を敷き粉砕

表土を撤去し鉄板の上に載せ粉砕　　表土の下は採石路盤を確認　　ﾌﾟﾚｰﾄにて鉄板なしでも粉砕

集積した表土を粉砕方法

粉砕は、振動ローラーで押し潰す

粉砕した表土の状態　　大きさ３cm前後を目安とする　　３cm程度の細かい土にする

②　１層目　下地作り

深さ５㎝堀　　表土を粉砕した土　５㎝入れ敷きつめる

表土を敷きつめる粒度は約３㎝～４ ㎝程度を使用　　振動無しでローラーにて軽く整地

③　１層目は**標準希釈液**を６ﾘｯﾄﾙ/㎡に対して約４割を散布

(その時の表土の水分の含み具合により調整が必要)

標準希釈液　合計約２～３ﾘｯﾄﾙを散布

散布後　約１時間放置して　**標準希釈液**が土に浸透後(表面が乾く状態)転圧を掛ける

狭い場所はﾌﾟﾚｰﾄ式を使用　　広域は振動ローラーを使用　１から２㎝沈む

④　２層目　仕上げ

表土の細かい土　厚さ　1～2 ㎝程度敷きつめる
その上に真砂土等の仕上げ用の土を 2 ㎝ほど敷きつめる

⑤ 2 層目(仕上げ)は**標準希釈液**を 6 ㍑/㎡に対して残り約 6 割を散布
（その時の表土の水分の含み具合により調整が必要)
標準希釈液　合計約 3～4 ㍑を散布

散布後　約１時間放置して　**標準希釈液が土に浸透後**(表面が乾く状態)　**転圧を掛ける**
転圧時、下の表層部がローラーに付く場合は、仕上げ用の土を少し撒いてから
(適当量その時の判断が必要)**転圧を掛けます**